



灰色かび病、菌核病に効果を発揮。攻守に優れたミラクルアシスト!

■日本曹達株式会社

「フアンタジスタ顆粒水和剤」

「フアンタジスタ顆粒水和剤」はヒリノカルブを有効成分とする新剤の総合殺菌剤です。2002年よりKUP11204 顆粒水和剤の試験名で、(社)日本植物防疫協会を通じて委託試験を開始。フアンタジスタ研究としてベニライ化学工業(株)と日本曹達(株)で共同開発を進め、2012年8月20日農薬登録を取得しました。

特長

「フアンタジスタ顆粒水和剤」には5つの特長があります。

- ①広範囲な病原菌に対して高い防除効果を示す総合殺菌剤で、特に灰色かび病、菌核病等に優れた効果を示します。
②新しい構造を持った新規有効成分を含有しています。
③予防活性に加え、病斑伸張阻止効果、治癒促進効果を持っています。
④既存各種細菌性菌に対して効果を発揮します。
⑤各種作物への薬害発生リスクが少ない剤です。

残渣や他の有機物で腐生的に繁殖し、菌糸または菌核の形態で越冬し、これが翌年の伝染源となります。この伝染源が適温多湿条件下で多量分生子を形成し、飛散して植物に感染発病します。分生子は開花後に衰弱した花弁上や枯死葉等で生育・増殖し、花弁からさやあるいは葉へと侵入移行します。その後、病斑上に新しく分生子を形成し、それが飛散して二次感染します。また、発病初期に伝染する風全量さやや葉に深く感染することもあります(写真1)。

多犯性の病原菌：灰色かび病菌

灰色かび病菌は豆類、なまねきその他作物、野菜類、花き類等を犯す多犯性の病原菌です。豆類の場合被害作物

菌の生活環境のすべての場面で活躍するフアンタジスタ

図1は本剤の作用特性を表した図です。また、図2はいんげん花弁上における灰色かび病菌に及ぼす影響を示した顕微鏡写真です。「フアンタジスタ顆粒水



●写真1 小型灰色かび病

細孔は病原菌の胞子の発芽、発芽した発芽管の伸長・付着器の形成を阻害するといふ、いわゆる予防効果を示すだけでなく、植物体への侵入・侵入した菌糸の生育を阻害する病斑伸張阻止効果、そして次世代や二次感染に至る胞子の形成阻害効果も示しています。よって菌のライフサイクルすべてを阻害します。

また本剤は対照剤と同等以上の薬内浸透性を示します(図3)。葉部から上位葉への浸透移行性を有することも確認されています。これらの作用も、豆類の灰色かび病、菌核病、なまねきの灰色腐敗病に高い効果を示します(図4、図5参照)。

幅広い作物登録・病害登録

果樹、野菜等に広く登録を有します(表1)。「あずき」「いんげん」の炭疽病にも登録を有します。

おわりに

本剤は単一の新規有効成分を有し、広範囲な病原菌に対して高い防除効果を示す総合殺菌剤です。特に灰色かび病、灰色腐敗病、菌核病、炭疽病に対して優れた効果を示し、各種作物への薬害発生リスクが少ない剤です。各作物のローテーション防除の一角を担う剤として末永く愛顧ください。

Figure 2: Diagram showing the effect of Fungicide on bean petals. It illustrates the inhibition of spore germination, hyphae extension, and attachment organ formation. A bar chart shows the percentage of germination inhibition for various treatments.

Figure 3: Diagram showing the effect of Fungicide on the life cycle of the pathogen. It illustrates the inhibition of spore germination, hyphae extension, and attachment organ formation. A bar chart shows the percentage of germination inhibition for various treatments.

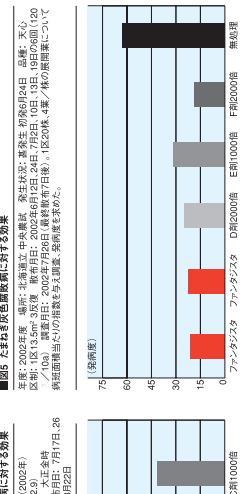


Table 1: Application methods and usage of Fungicide. The table lists crop names, application methods, application rates, application frequencies, and application periods.

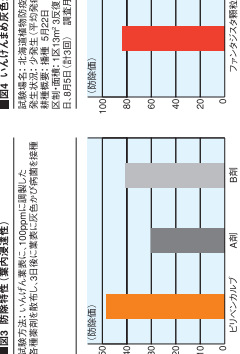


Table 2: Application methods and usage of Fungicide. The table lists crop names, application methods, application rates, application frequencies, and application periods.